



街角レポート

全国各地で、地域の元気のある人々が、地域の伝統的な文化・技術・産業を見直して、そこにちょっとしたスパイスをかけ、地域に密着したまちづくり活動を展開し、希薄になっていた地域コミュニティが復活したとの声が聞こえてきます。今回は、そんなまちづくりの取り組みをご紹介します。

人の輪で創りあげた「夢 AKARI 事業」(瓜連町)

瓜連町では昨年の秋、地域の伝統文化を守り育て、次世代に伝えていこうと町の有志たちから「夢 AKARI」事業が発案されました。

そして今年2月に実行委員を募集したところ、自営業者、サラリーマンなど12名の町民が集まりました。委員会では、人との出会い、人づくり、そして地域の活性化をめざして、様々なアイデアが出され、「夢 AKARI」事業が形作られました。



< 八重桜まつり >



< 灯籠に灯火 >



< ろうそくの灯と桜の花の饗宴 >

八重桜まつりが開かれている瓜連町静峰ふるさと公園で、延べ232人のボランティアの協力を得て、4月24日・25日・29日の午後6時30分～午後8時30分の間、灯籠を使ったイベントが開催されました。灯籠(1,080個)と竹灯籠(80個)に火が灯り、八重桜のライトアップと合わせて幻想的な空間が演出され、訪れた人達は、満開の桜と灯籠のあかりが美しく溶け合う光景に見入っていました。

夢 AKARI の「夢」は地域の未来を、「AKARI」は古くから受け継がれてきた地域の誇りを意味しています。それぞれの意味が灯籠の灯に託され、その思いが地域の人々に伝わった気がしました。

問い合わせ先

瓜連町商工会

TEL 029(296)0241

(編集委員 S.T)



西塩子の回り舞台歌舞伎公演（大宮町）

～ 第 8 回ふるさとイベント大賞受賞 ～

地域の活性化に貢献し、創意工夫に富んだイベントを全国から募集し表彰する「第 8 回ふるさとイベント大賞」の大賞に大宮町の「西塩子の回り舞台歌舞伎公演」が選ばれました。



< 西塩子の回り舞台歌舞伎公演 >

西塩子の回り舞台は、丸太と青竹を縄で結わえて組み立てられた巨大なドーム型の舞台で、日本現存最古といわれています。地元や近隣で行われる歌舞伎公演に使われてきましたが、昭和 20 年を最後に公演が途絶え、地元の人にも忘れられた存在でした。



< 組み立て作業 >

しかし、平成 3 年に町の調査で、西塩子の回り舞台が貴重な文化財であるということがわかり、それをきっかけに同地区全世帯 70 戸が参加する「西塩子の回り舞台保存会」が結成されました。平成 9 年には半世紀ぶりに舞台の組立てが実現し、翌年には地区の住民が芝居の一座「西若座」を結成、3 年に一度、舞台の組立てと定期公演が行われています。



< 和太鼓の演奏 >

今回は、この「西若座」による歌舞伎公演のほか、歌舞伎や舞踊に取り組む地元の小学生たちが、見事な演技・演奏を披露するとともに、舞台を広く一般に公開して、地芝居以外に多彩なジャンルのコンサートも開催しました。さらに、後継者の育成を目的として、舞台の組立てに合わせて組立技術伝承教室が開かれました。

このほか、組立て作業には、高校生から 70 歳代まで、延べ 100 人余のボランティアが参加し、舞台背景となる大道具作りには、近隣の高校の美術部員が参加するなど、希薄になっていた地域のつながりが再び結ばれるという大きな成果を生んでいます。



< 大道具作り >

< 問い合わせ先 >

大宮町歴史民族資料館
TEL : 0295(52)1450

(今回は、読者の方から情報をいただきました)